

## 会 議 録

- 議事内容 2023年度 11月定例教育委員会
- 日 時 令和5年11月22日(水) 13:30～15:30
- 場 所 4階会議室4-1
- 出席者 教 育 長 小西 博泰  
教 育 委 員 河嶋栄里子・藤本真理・養父雄一・石原友紀  
事 務 局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長  
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長  
教育総務課 澤谷

### ■〔会議の内容〕

#### 1 開会あいさつ

・教 育 長

#### 2 前回議事録確認

・全委員一致で承認

#### 3 協 議 事 項

☆今月の議論のテーマ：「不登校等に関する現状と対策」について

#### ○不登校の状況について

- ・小・中学校の不登校児童生徒数は全国で約29万9千人であり、過去最多。右肩上がり急増している。
- ・学校内外の機関で相談・指導等を受けていない児童生徒数も過去最多。  
→小野市については、全くアプローチがかかっていない児童生徒はいない。
- ・こういった状況を受けて、国は緊急提言を出している。  
以前から大きく変わったところは、**安心して学ぶことができる、「誰1人取り残されない学びの保障」**というのが現在の不登校対策の大きな柱となっている。  
→この辺りを踏まえて、学校も不登校対策をしていく必要がある。
- ・アウトリーチ機能という、誰にも関わっていない不登校の子どもを減らすため家庭訪問をして支援を行うアウトリーチ型の強化。  
→小野市も家庭訪問は行っているが、ここをもう少し手厚くできないかということで、校内支援センターを設置し、学級を見られる人員を配置することで、よりアウトリーチ型ができないかと考えている。

#### <県の状況>

- ・兵庫県の不登校児童生徒数は多く、全国で10位以内に入っている。兵庫県も不登校の対策を緊急にしないといけないというような状況。
- ・全国学力学習状況調査で高水準の秋田県や福井県は全国よりかなり低い。

→勉強がわかることは、学校が楽しいということに繋がるので、そのあたりも関係があるのではないかと。

### ○変わる学校のあり方

- ・コロナによってGIGAスクール構想が進んだことで、学びの取り組み方の選択肢が増えた。
- ・この辺りから目標が学校復帰ではなくなる。基本的には困ったら相談するような力や自分の強みを見つけて、それをしっかり活かせる力をつける、自立するところ、重点が置かれている。  
→それに合わせて学びの場・居場所づくりをしなければいけない
- ・不登校の対策としてオンライン授業が行われる。オンライン授業は、情報モラルや情報活用能力は上がるが、リアルなコミュニケーションの力や、コミュニケーションの質は下がる。  
→オンライン上では共感を得ることができないので、学びに繋がらない。不登校の子どもたちには共感が大事なポイント。オンラインに頼りすぎてしまうと、その部分が欠けてしまう。

### ○不登校になったきっかけ

- ・文部科学省の最近の調査では、不登校の要因として、よくわからない・無気力・不安といったことが5割。しかし、滋賀県のフリースクールの調査では、要因の3割が先生によるもの。  
→この違いがポイントとなるのではないかと。

### ○学校の現場について

- ・先生の50%が20代後半から40代前半であり、子育て世代が半分を占めている。例えば子育てのため育児休業を取られた先生とそうでない先生で、同じ年代でも経験差や個人差ができてしまっている状況。  
→経験のないまま、若手の指導しなければいけないような現状になったり、組織対応・リーダーシップ・地域や保護者の連携を求められたりするような現状が、この差の中で起きている。

### ○小野市の不登校の状況

- ・不登校児童生徒数は過去最多。10月の時点で初の100人越え。
  - ・ハイペースな増加傾向。
- <学年ごとの分析>
- ・8年生で急増して9年生も同傾向にある。
  - ・5年生でいったん増加する。

→10歳の壁という、脳が急激に発達する時期であり、いわゆる2次成長期の入口。子どもたちの心理状況が変化するところなので、ここがポイントになる。

- ・1～3年生に比べて4年生から不登校が増えており、一つのキーポイント。

<時期の傾向>

- ・6月が潮目、急増のタイミング。

→一旦増加してしまうと、高止まりになってしまう。ここをポイントとして考えて、対策を考える必要がある。

- ・対策の目的は、学校復帰か、不登校を減らすことか、学びの場の保障なのか、このあたりは揺れ動く。

→国や県の方針も含めて学校で協議し、どこを狙っていけばいいのか、これからしっかりとベクトル合わせをする必要がある。

- ・小野市には不登校ゼロを目指すための新ほほえみアクションプランがある。

→不登校の動きが大きく変わったので、今の時代の要素に合うようなものに変えていく必要がある。

#### ■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:小野市の不登校の子どもたちに関わりがない子がないというのはすごくありがたいことで、努力されているのだと感心している。育休の先生方の研修の機会等はございますか。(教育委員)

A:不登校の子どもたちについてはそれぞれ状況が全然違うので、なかなか同じ基準の研修というのは難しい。情報交流をして経験を積むようなことを、学校の中でしていく必要がある。OJTといって、学校の中でベテランの経験のある先生が経験のない先生に教えるということは、不登校の部分だけでなく色々な部分で行われているので、その中で経験を少しずつ積んでいくことが大切だと考えている。それから、不登校対策会議等が出てきたことは学校で還元してもらおうようにしているので、情報は共有されている。一番大事な事は、学校の中で不登校の子どもたちの状況をしっかりと捉えて、どのように関わっていけば良いかということ、情報共有して進めていく事だと考える。(事務局)

- ・不登校の要因について、学校が考えるものと実際に不登校の子が考えるものは、必ずしも一致しないということはこれまでからもあることで、不登校の子たちに接していると、やはり何割かは教師に起因するものがあるのではないかと感じる。家庭を変えることは難しいので、やはり教師の研修というのが大切になる。不登校になってからどう対応するかということも必要であるし、それまでの子どもとの受け答えをどうするかというところで、やはり不登校の予防というところが非常に重要だと考える。不登校担当をしていたときは、シチュエー

ションを作ってロールプレイングという形のものを行っていた。不登校だけに限定するのではなく、日常的な声掛けなどそれぞれマニュアルにないところについて、他の人のやり方を取り入れられるようなことを研修としてする必要がある。また、日頃から引がかかったことを誰にでも相談できるような雰囲気はどうやって作っていくかということが大切だと考える。今の学校の体制で変えていく必要があるところもあるのではないかと考える。それから、ソーシャルワーカーとして学校に入っていて、福祉の方と話していると、福祉の場合は18歳くらいまでの長い目でみておられるので、こちらが知らないことも知っておられて、そこでのノウハウもあるのではないかと感じる。中学校卒業後は学校ではなかなか難しいところがあると思うが、福祉と連携をとって長いスパンで見えていくことが必要なのではないかと考える。(教育委員)

Q:子どもにとっては友達が大きなウエイトを占めているので、やはり友達がいれば会いに行くということで、登校のハードルが低くなるのではないかと考える。不登校で休んでいた子が、思い切って来ても学校で迎え入れられない雰囲気だったら、また足が遠のいてしまうのではないかと考えるので、その子を温かく迎えられるように、子どもたちに何か不登校に関する指導というものはされているのか。(教育委員)

A:不登校の子どもに対してこんな声掛けをすれば良いというような指導は改まってはしていないが、休んだ友達が気になる。そういう関わりを子どもたちが持てるような集団作りといったことはしている。普段からいない子を思いやったり、そういった普段の子どもの関わり方があると、不登校を未然に防ぐということに繋がるのではないかと考える。ただ、学級集団のその雰囲気の作り方といったことは、経験でしか埋まらない部分があり、そこができる人と、経験がなくてわからない人ではどうしても差が出てしまう。(事務局)

Q:コロナ前には、来られない子の家に迎えに行くというようなこともあったと思うが、そういうことも今はなくなってきているのではないかと考えるし、学校だけが居場所ではないということで保護者の気持ちが揺れ動いたりしているところも、数字に表れてきているのではないかと考える。ただ、不登校支援は全体で指導されているので、特にその先生の経験が足りないことが原因となるようなところは無いのではないかと考える。(教育委員)

A:当然チームで対応しているが、ちょっとしたことの積み重ねがすごく大事だと感じるものがたくさんあるので、そこがポイントになるのではないかと考える。(事務局)

Q:そこを改善するためには、どのようにしたら良いと考えているのか。(教育委員)

A:例えば、休んでいる子に手紙を書くことがあるが、それが本当に来て欲しいと

思っている子が書いているのか、先生が言っているからなのか、その辺りが不登校の子どもは敏感なのでわかってしまうので、そうなるとかえって傷ついてしまうということがある。(教育委員)

A:それを自然なようにしようとする、やはり経験がないと難しい。自分自身も若い頃によく言われたのは、電話の声の雰囲気で行くか行かないかを判断する。そういうことを繰り返していると、だんだん判断ができるようになってきた。そういったところが難しく、マニュアル化できないところだと考える。また、出会えたら良いが、出会えなくても来てくれたっていう事実が子どもに響くので、そういうことをやるかやらないかの差だということはずっと言われていた。そういう文化が伝承される雰囲気を作らなければいけない。これは不登校だけでなく、全ての部分で言えると考えている。(事務局)

A:手紙を置いたが見てくれなくても、1回駄目だったからと言って放っておくのではなく、手紙は駄目でもメールであれば話ができたと等、できるだけ子どものアンテナにキャッチされるように様々なことをする。また、学校に来るときも何がきっかけになるかわからないので、本当にマニュアル化できない。(教育委員)

- ・自分だったらこれが原因で不登校になるという視点は大事だと考える。2020年に文部科学省が不登校の調査を児童生徒側、学校側の両方に行った。その時の結果は、児童生徒側の回答では、「体の不調」が一番で、その次に「勉強がわからない」、それから「原因がわからない」という順番だった。一方、学校側の回答では半数くらいが、「本人の無気力と不安」という回答だった。児童生徒側の回答と学校側の回答は若干違っていて、ここのニュアンスがアンマッチになってしまっていることが不登校の難しさではないか。不登校の延長線上で引きこもりの問題があり、そこにつなげないように、教育の分野で様々なことをやるよう言われているが、なかなか学校側がすべてを把握するのは難しいと考える。意外だったのが、調査で一番多かったのが「体の不調」ということで、起立性調節障害という病気が現在注目されているということもあるので、様々なことを検討して、社会全体で関わらないと不登校はなかなか少なくならないのではないかと。皆が行きやすいような学校にするために、皆で知恵絞って考えなければいけない。(事務局)
- ・不登校にしても問題行動にしても、自分を守るための行動だということを、周りが理解して、そこからスタートしなければいけない。気持ち的にも身体的にもどうしようもいなくなっていて、動けなくなっているということが基本にはあると考える。(教育委員)
- ・食事は本当に大切で、少し食べ物を変えることで体調が良くなる等、変わることもある。食べ物と体と心が関わっているということで、食事・食育も大切だ

と考える。ちょっとしたことで変わればそれに越したことはなくて、気分がよくなって学校に行けるようになれば良いし、なにか少しでもきっかけになれば良いのではないか。要因は多岐にわたるので、不登校の子どもたちの現状や意見を聞き取ることが大切。(教育委員)

- ・ 社会福祉とも連携をとりながら、学校でできることはなにか考えている。(事務局)

**Q:**親もすごく悩んでいると考える。どうしていいかわからない、情報が欲しくても話せる人もいれば隠したいという人もいて、いろいろな精神状態があると思うので、親身に寄り添ってくださる方の存在も必要である。そういったケアはどのように行っているのか。(教育委員)

**A:**社会福祉や子育ての方で相談できる場所は、相談して繋がるようにしている。ただ、最初に出会うのは教員で、その時に色々な話を聞くが、その先で本音が聞けることもあり、そこから次の繋ぎどころが見つかることもある。そのあたりも小野市の先生方は根気強くしていただいている。(事務局)

**Q:**そこにスクールソーシャルワーカーといった方にも入ってもらい、その目線からのサポートもあるということですね。(教育委員)

**A:**スクールカウンセラーにつないだり、スクールソーシャルワーカーに入っただいて、次の連携策を一緒に考えている。ただ、やはり最初のコンタクトは学校の先生であり、そこでしっかり話せるような状況があるからこそ次の段階に進めるのではないかと考える。(事務局)

**Q:**自分の子どもが何日か休んだだけでも、連絡のプリントを同級生の子がすごく丁寧に書いてくれているのを見て、すごくありがたいと感じた。学校を休んでもLINEで繋がっていたり、子ども同士だと学校以外の部分のつながりも深いのではないかと感じるの、その辺りを先生とどのように話しているのか気になっている。それから、不登校の子どもを持つ保護者同士の繋がりというものはあるのか。(教育委員)

**A:**フリースクールで保護者の会を持たれているところもあり、そこで繋がって情報交換しているところはあると聞いている。それから、子どもたちはLINE同士で繋がっているの、先生はそのあたりも子どもから情報を得て、どんな状況か把握されている。(事務局)

**Q:**河合にできた「ゆ〜ゆう」には何人か行っているのか。(教育委員)

**A:**「ゆ〜ゆう」は部分的に利用している子どもはいるが、継続して利用しているという話はまだ聞いていない。(事務局)

**Q:**三木の「S-BASE」を利用している子が多いのか。(教育委員)

A:部分的に利用したり、イベントがある時に行っているような子はいる。ただ、長期的に関わっている子はあまりおらず、定期的に行けているのか、部分的に行っているのかは、子どもの状況によって変わってくるので、そこを学校と一緒に見定めながら、フリースクールとも連携しながら進めている。(事務局)

Q:フリースクール等を利用せず、家にいる子の方が圧倒的に多いのか。(教育委員)

A:その通り。フリースクールは費用がかかるので、そういったことも難しいところではないかと考える。(事務局)

Q:校内支援センターについて、現時点で考えている形というのは、学校の先生の中から支援員を配置するのか、それとも誰か新規の方を採用するのか。(教育委員)

A:経験があり、免許のある方に入っていただく予定である。その子どもたちが個別で学習したり、様々なことをしているのをその方に見ていただくことができるので、不登校担当の先生に余裕ができる。その先生が、例えばアウトリーチ型支援に行ったり、不登校気味の子の支援をしに行く等、色々な支援の方法が見つけられるので、そういった形で進めようと考えている。(事務局)

- ・大切なのは学校に行くということではなくて、子どもたちが将来に渡って自立することが一番大事だと考える。先生方は失敗や成功を積み重ねて学んでいくので、研修も大切であるし、実際に足を運んでみることも先生方にとっての体験である。不登校の要因は一人ひとり異なり、年齢によっても異なる。保護者の方も悩んでいるので、支援して何とかしていかなければいけない。そういったところで、学校の先生が相談にのったり、地域の方が相談役になったり等、様々な相談体制を組めたらと考えており、それが本当の意味でのチーム学校ではないか。チーム学校というのは、学校の中でだけ作るものではなくて、地域の方や専門家といった人とも絡んでいって、子どもたちが自立してくれたらと考えている。令和6年度の主要事業としてあげているように、フリース쿨的な教室支援体制を作っていくことが一つ。それから、今後もフリース쿨の動向を見ていく必要があるということが一つ。もう一つは、新ほほえみアクションプランの見直しをしていく必要がある。失敗や成功を繰り返しながら、子どもと切れない関係を作っていかなければいけないし、誰1人取り残されない、皆が学校と関わっているというような教育を進めていきたい。(教育長)

---

#### 4 報告事項

- ・令和5年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

## ■〔学校教育課関連〕

### ①第Ⅲ期教育振興計画の具現化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・第20回川島隆太教授講演会を11月1日に開催した。20周年DVDを放映し、川島先生から非常に好評で、20年やってきてよかったというようなお言葉をいただいた。
- ・自然学校については、11月13日に最後の学校が実施し、宿泊行事については全て終了した。

(今後の予定)

- ・学力向上推進委員会を実施。
- ・「新たな幼稚園」に向けて検討を進めていく。また、来年度の幼稚園の園児の募集を開始した。

### ②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・『報・連・相』及び『4号報告(いじめ・問題行動等)』で報告。
- ・情報共有と組織的な対応について周知・徹底(校長会)。
- ・10月19日に不登校対策会議を実施した。データをもとに話し合いを進めている。

### ③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗管理)

- ・令和6年度の人事異動方針の発出と希望調書作成。
- ・夢と希望の教育推進委員会では、業務改善の推進について進めている。先生のテレワークや多様な働き方ができるような方面、それからUSBを使わず安全に業務ができるようにするよう進めている。

### ④学校教育課情報

#### 1 市の取組予定

- ・10月中旬 全国学力・学習状況調査 分析結果公表リーフレット配布
- ・10月 5日 学力向上推進委員会
- ・10月19日 不登校対策会議
- ・10月31日 川島隆太教授による教職員向け研修会
- ・11月 1日 第20回川島隆太教授講演会(体験型講演会)  
(視察) 兵庫県教育委員会東播磨教育事務所 2名



**【議会行政視察対応】**

- ・11月 6日 雄勝郡羽後町議会（秋田県）
- ・11月 8日 米子市議会（鳥取県）
- ・11月13日 砺波市議会（富山県）
- ・11月14日 尾花沢市議会（山形県）
- ・11月14日 嘉麻市議会（福岡県）
- ・11月15日 野々市市議会（石川県）
- ・11月16日 駒ヶ根市議会（長野県）

**2 学校の取組**

- 小野特フェスティバル 11月 3日(金)
- 小野市学童展 10月28日(土)～29日(日)
- 自然学校（河合小） 11月13日(月)～17日(金) 南但馬自然学校

**3 学校の状況等**

- 10月の4号報告6件
- 10月の不登校の状況
  - ・小学校19名（前年14名）
  - ・中学校81名（前年66名） 合計100名（前年80名）
- ・重大事案等はなく、学校の中で適切に解決できている。この状況を後半も続けていきたい。

**■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】**

Q:川島隆太教授講演会を聴いて、なにかまだ脳が伸びるのではないかと思えるようなワクワクするお話で、やはりこの講演会は大事であり、ありがたいことだと改めて感じた。川島隆太先生の脳科学に基づいた16か年計画について、この前、小野保育所に見学に行ったときに、参観の後で学校教育課の方がお話されているのをきかせていただいた。脳が大事だということや、脳の取り組みはもちろん、こうしたら脳が伸びるということもわかりやすく説明されていた。それから、今後の展望のようなことを話されていて、保護者にとってみたらわかりやすく、現在していることをもっと考えようというきっかけになり、とてもよかったと考える。この積み重ねで今の小野市の子どもたちがあるのだと思った。これは全ての保育園を回ってお話しされているのか。（教育委員）

A:全ての幼稚園と保育園を毎年回っている。（事務局）

A:スマホとゲームのやりすぎということが今後の啓発の中心になると考えるので、その点は保育所や幼稚園と連携しながら、使い過ぎはいけないという啓発

を続けていく必要がある。(教育長)

---

## ■〔教育総務課関連〕

### ①新幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・現在、設計業務を進めており、進捗率は10月末で80%。予定通り進んでいる。

(今後の予定)

- ・新たな幼稚園の園章デザインの公募を行う。12月広報と市ホームページで周知を行い、募集期間は来年の1月末まで。(仮称)おの幼稚園開園準備検討会を立ち上げ、その中でデザインを決定する。定例教育委員会でも随時情報を報告する。
- ・園歌についても作詞・作曲の候補者への打診を進める。
- ・小野市立幼稚園の設置に関する条例において、わか松幼稚園の住所が西本町となっているが、来年3月に場所が変わるため、条例改正の手続きを行う。

### ②学校施設長寿命化対策事業(旭丘中学校)

(進捗状況)

- ・校舎の建設工事については、10月末現在の進捗率は4.1%。外部の足場の設置、内装の解体・撤去、アスベストの撤去等を行っている。

(今後の予定)

- ・体育館改修工事については、令和6年度に設計、令和7年度に工事という計画で進めている。

### ③学校施設バリアフリー化整備事業

(進捗状況)

- ・現在、小野小学校エレベーター設置工事の設計業務を進めており、進捗率は10月末現在で80%。

(今後の予定)

- ・小学校エレベーター設置工事の発注・入札を来年の1月に予定している。学校生活への影響に配慮したスケジュール設定ということで、なるべく児童の生活に影響のないように、主要な工事を夏休みに実施する。来年度の4月の入札では夏休み工事には間に合わないということで、12月補正で手続きを行い、1月に入札を行えるように準備を進めている。

### ④教育総務課情報

#### 1 学校定期監査

対象校：河合小学校、大部小学校、中番小学校、下東条小学校

日 時：事務局監査 11月10日（金）9：30～16：00

監査委員監査 11月21日（火）9：30～16：00

内 容：学校予算執行状況、学校会計の管理状況、学校運営上の課題と対策等

## 2 通学路合同点検の実施

日 時：11月28日（火）9：30～12：00

対 象：河合中学校区、旭丘中学校区（大部小学校区）

## 3 学校施設工事等関係

○市場小学校受水槽及び消火水槽更新工事 設計・監理業務委託

令和5年5月17日入札落札 (株)小西設計 小野市上本町

令和5年5月19日～令和6年3月20日 7,700,000円

→設置後約37年が経過し、老朽化が進んでいるため更新を行う。6月30日に現地調査を実施し、受水槽の設置位置を決定。

○市場小学校受水槽及び消火水槽更新工事

令和5年9月8日入札落札 藤井設備工業(株) 小野市敷地町

令和5年9月13日～令和6年3月20日 45,760,000円

○河合小学校・市場小学校空調更新工事 設計業務委託

令和5年6月28日随意契約 (株)小野設計 姫路市

令和5年6月28日～令和6年3月20日 4,895,000円

→学校の空調は平成23年度に一斉に整備され、12年が経過し、故障等の不具合が多く、部品の生産も終了しているため修理できない状態であることから、順次更新を行う。

○小野中学校、小野特別支援学校ポンプ更新工事

令和5年8月8日入札落札 (株)エアコンサービス 小野市菅田町

令和5年8月15日～令和6年3月15日 10,813,000円

→小野中学校上水ポンプ及び小野特別支援学校消火ポンプについて、老朽化等が進んでいるため更新を行う。

○小野小学校プールろ過設備改修工事

令和5年11月2日入札落札 金川電業株式会社 加東市

令和5年11月8日～令和6年3月11日 11,990,000円

→学校のプールろ過機は20年に一度定期的に更新が必要なので、更新を行う。

## ■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:通学路合同点検について、今回対象となっていない地域は昨年以前に実施したということか。(教育委員)

A:その通り、定期的にそれぞれの校区の点検を行っている。(事務局)

Q:点検の際にどのような事例が上がっているのか。(教育委員)

A:今までの事例で多いのは、交差点が危ないので注意喚起のために交差点を赤く塗る、あるいは交差点の手前に「通学路につきスピードおとせ」という看板をたてる、それからグリーンベルトという路肩をグリーンに舗装するというものがある。国道であれば国の管理になり、県道であれば県の管理になるので、それぞれの立場の方に来ていただき、どのような対策が良いか検討を行っている。(事務局)

Q:小野小学校にエレベーターを設置するということだが、もし車いすの子が体育館に行く場合、エレベーターに乗ってそのままスムーズに体育館に入れるようになるのか。(教育委員)

A:体育館に行く際の段差は解消できないので、できるだけ負担のないような昇降機を設置することで対応する予定。(事務局)

Q:エレベーターの設置計画について、小野小学校の後はどの学校に設置する予定なのか。(教育長)

A:小野小学校の次は市場小学校にエレベーターを設置する予定である。来年度は、小野小学校の工事をしつつ、次の学校の設計を進めていき、順次このような形でバリアフリー化を行っていく。(事務局)

---

## ■【いきいき社会創造課関連】

### ①小野市文化財保存活用地域計画策定事業

(進捗状況)

- ・文化庁から修正指示があったので、それについて修正を行った。

(今後の予定)

- ・11月6日に文化庁へ再修正分の送付を行っており、文化庁への認定申請の締め切りは12月5日になっているので、その間に協議を行っていく。
- ・文化庁認定記念講演を3月9日予定している。

### ②コミュニティセンター事業(地域づくり協議会、特色ある取組み等)

(進捗状況)

- ・おの:防災研修会を10月26日に開催。参加者は41人。
- ・おおべ:おおべ未来塾 古代米稲刈り体験を10月28日に開催。大部小

児童等30人が参加した。

(今後の予定)

- ・お の：自作真空管アンプによるレコードコンサートを11月12日に開催。  
第6回乗って残そう！神戸電鉄粟生線フォトコンテスト展を11/7～19、11/27～12/8に開催。
- ・きすみの：来住地区ソフトバレーボール大会を11月12日に開催。  
第13回きすみの歴史探足（鴨毛郡檜原里／加西市南東部から小野市西部）を11月25日に開催。

### ③いきいき社会創造課情報

#### 1 事業報告

[いきいき社会創造係]

##### ○第48回小野市美術展

開催期日：10月19日（木）～22日（日）

9：00～16：00 ※最終日は12：00まで

場 所：小野市伝統産業会館 大研修室

展 示 数：171点（絵画45点・書道16点・写真90点・彫塑工芸20点）

表 彰 式：10月22日（日）14：00～（表彰点数：37点）

[図書館]

##### ○マナーアップキャンペーン

内 容：利用マナーの向上を呼び掛けるため、「本からのSOS展」と題し、エントランスホールに汚損・破損資料を展示。期間中、カウンター前で啓発しおりを無料配布。

期 間：10月1日（日）～11月9日（木）

##### ○「利用者が選んだ一番おすすめの本 2023」

内 容：令和4年10月1日～令和5年9月30日の間に刊行された小説の中から利用者の投票で一番おすすめの本を決定。投票期間中、カウンター前で新刊の小説と投票対象本のリストを設置。投票結果は館内・ホームページで投票数が多かった作品を発表。

投票期間：10月23日（月）～11月27日（月）

結果発表：12月 1日（金）

##### ○図書館からの挑戦状

内 容：小説や郷土に関するクイズをカウンター前に設置。全問正解者

には職員手作りのオリジナル読書手帳をプレゼント。

期 間：10月23日（月）～11月27日（月）

[コミセン]

○きすみの祭（来住地区地域づくり協議会）

日 時：10月28日（土）9：00～17：00（作品展示のみ開催）  
29日（日）9：30～12：30

場 所：コミセンきすみの

内 容：獅子舞、和太鼓、よさこいダンス等の舞台発表（7団体）  
コミセンサークル、地元小・中学生等による作品展示（14団体）  
飲食、子ども向けゲーム及び農産物等の模擬店、抽選会、  
白バイ乗車体験、コスモス切り花プレゼント等の催し物

参加者数：約1,100人

○いちばふれあいの祭典（市場地区地域づくり協議会）

日 時：10月21日（土）9：30～15：15  
22日（日）9：30～14：00（作品展示のみ開催）

場 所：コミセンいちば

内 容：コミセンサークル、地元保育園児等による舞台発表（9団体）  
コミセンサークル、地元小・中学生等による作品展示（11団体）  
飲食、子ども向けゲーム及び野菜・園芸用品等の模擬店  
抽選会等の催し物

参加者数：約1,000人

○大部地区ふれあいのつどい（大部地区地域づくり協議会）

日 時：11月4日（土）9：00～16：00  
5日（日）9：00～14：00（作品展示のみ開催）

場 所：コミセンおおべ

内 容：コミセンサークル、地元保育園児等による舞台発表（9団体）  
コミセンサークル、地元小・中学生等による作品展示（15団体）  
飲食及び子ども向けゲーム等の模擬店  
抽選会及びお茶席体験等の催し物

来場者数：約1,500人

○第45回下東条地区文化祭（下東条地区地域づくり協議会）

日 時：11月4日（土）13：00～17：00（作品展示のみ開催）  
5日（日）9：30～15：30

場 所：コミセン下東条、下東条体育館、市民研修センター  
内 容：コミセンサークル、地元保育園児等による舞台発表(13団体)  
          コミセンサークル、地元小・中学生等による作品展示(16団体)  
          飲食及び子ども向けゲーム等の模擬店  
          抽選会及びお茶席体験等の催し物  
来場者数：約2,500人

## 2 今後の予定

[いきいき社会創造係]

### ○市民芸能フェスティバル

日 時：11月12日(日) 10:00～14:30  
場 所：うるおい交流館エクラ エクラホール  
演 目：小野市文化連盟芸能部12団体による唄・踊り・太鼓の披露

### ○市民文化賞表彰式 ※市民芸能フェスティバルと同時開催

日 時：11月12日(日) 11:20～12:00  
場 所：うるおい交流館エクラ エクラホール  
表 彰 数：12人(市民文化賞1人、奨励賞2人、優秀賞9人)  
          1団体(優秀賞：小野高等学校ビジネスライセンス部)

### ○2024小野市成人式

日 時：令和6年1月8日(月/祝) 10:00～ ※成人の日  
場 所：うるおい交流館エクラ エクラホール  
式典プログラム(案) ※11/9時点  
          オープニング、恩師のビデオレター、思い出写真を使用した動画  
          20歳の主張、エンディング

[コミセン]

### ○2023かわいフェスタ

日 時：11月11日(土) 8:30～15:00  
          12日(日) 9:00～14:00(作品展示のみ開催)  
場 所：コミセンかわい、河合小学校、かわい快適の森 ほか  
内 容：学習発表会、作品展示、各種飲食、子ども縁日等の模擬店  
          里山ハイキング(6<sup>キ</sup>コース・かわい快適の森)  
          抽選会、丸太切り大会、里山ハイキング等の催し物

### ○花いっぱい運動・花植栽による美化活動

地区名	実施日	花苗植栽ポット数	植栽場所
小野	11 / 6 (月)	50	コミセンおの
河合	11 / 18 (土)	500	コミセンかわい JR河合西駅、青野ヶ原駅
来住	11 / 11 (土)	330	コミセンきすみの
市場	11 / 11 (土)	650	コミセンいちば 神戸電鉄市場駅、榎山駅
大部	11 / 11 (土)	250	コミセンおおべ
下東条	11 / 11 (土)	200	コミセン下東条

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:美術展について、審査があると知らず、応募すれば展示してもらえると  
 いた人が自分の他にも何人かいたと聞いた。もう一度広報を確認すると、  
 審査があり受かった作品だけ展示されるという文言がなかったの  
 で、そういった文言を入れた方が良いのではないか。それから、今後、  
 美術展の会場はエクラの方に変わるのですよね。(教育委員)

A:予算が付けば会場をエクラに変更する予定である。(事務局)

Q:作品を見に行き行って写真撮ったのだが、緑色に写ってしまい、それが  
 残念だという声があちこちで聞こえてきた。エクラであれば照明等も  
 良いのではないかと思う。(教育委員)

A:これについては、毎年予算要求しており、今年もヒアリングで要望  
 している。(事務局)

Q:芸能フェスティバルとあわせて開催すれば、芸能フェスティバルを見  
 に来た人もその流れで美術展を見に来てくれるのではないか。また、  
 日程も結構短かったようなので、もっとたくさんの人に見ていただ  
 ければと思う。(教育委員)

A:他のイベントとジョイントさせることで、複合イベントとして人の  
 流れを生み出すことができると考える。(事務局)

Q:コミセン祭で、下東条地区文化祭の来場者数が2,500人ということ  
 だが、他の地区より多いのは、何か団体の舞台発表や作品の展示で  
 目玉となるようなものがあつたのか。(教育委員)

A:保育園の子どもたちの演技があるので、ご家族が来られていた。  
 (教育委員)



A:他のコミセンは昼過ぎに終わっていたが、下東条は夕方まで開催していたので、他と比べて開催時間が長かったというのも影響していると考えられる。(事務局)

Q:たくさんの方が来られていて、やはりコミセンの力でもあり、地域の方の力もあってこれだけ集客があったと考える。それから、駐車場についての不満等はなかったか。(教育委員)

A:駐車場についての不満は特に聞いていない。(事務局)

---

## ■〔スポーツ振興課関連〕

### ①学校保健体育事業の推進

(進捗状況)

- ・12月に中学校で柔軟性(長座体前屈)の測定を行う。
- ・就学時健康診断を伝統産業会館で実施した。

(今後の予定)

- ・ひまわりカードを用いた第2回「朝食摂取率調査」(1月)の実施に向けた保護者啓発チラシのデザイン変更・睡眠調査の追加を予定

### ②第10回小野ハーフマラソン2023

(進捗状況)

- ・10回記念大会ということで、赤星名誉会長がランナーとして走られる。それから阪神タイガースとオリックスの選手も出場される予定。また、小林祐梨子さんや野上恵子さんもゲストとして参加される。
- ・今年度のエントリーは5,300人ということで、4年ぶりの5,000人超えであり、昨年度比で26%増となるので混みあうことが予想される。開催まで残り10日程になるが、無事開催できるように準備を進めていく。

(今後の予定)

- ・12月2日(土) 全日準備
- ・12月3日(日) 開催

### ③スポーツ振興課情報

#### 1 学校保健体育

○就学時健康診断

日 時：11月13日(月) 河合小・来住小・大部小・中番小  
14日(火) 小野小・市場小  
15日(水) 小野東小・下東条小

場 所：小野市伝統産業会館

対 象：令和6年度小学校就学予定児

## 2 社会体育

○第19回ひまわり杯ジュニアバレーボール大会

日 時：11月19日（日）9：00開会

場 所：小野東小学校

○スポーツクラブ21交流グラウンドゴルフ大会

日 時：11月19日（日）9：00開会

場 所：こだまの森公園

## 3 今後の予定

○第10回小野ハーフマラソン2023

エントリー状況（令和5年9月20日締切済）期間延長せず

申込区分		申込者数
ハーフの部	一般男子	3,040人
	一般女子	902人
5kmの部	一般男子	453人
	一般女子	445人
1.5kmの部	小学4～6年	183人
	小学1～3年	240人
合 計		5,263人

### ■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：ハーフマラソンについて、最初は色々な苦情もあったとお聞きしているが、この10年で地域の方々の気持ちも変わり、すごく協力的になったと感じる。（教育委員）

A：沿道の方々には交通規制等でご迷惑おかけするが、ご協力をいただいている。（事務局）

・ 阪神とオリックスの選手が両方とも来られることもあり、今年はより盛り上がりそうですね。（教育委員）

Q：今年もゲストとしてハジ→さんは来られるのか。（教育委員）

A：今年もスペシャルゲストとしてハジ→さんが来られる。（事務局）

Q：去年もハジ→さんが来られていたがあまり宣伝がなかったようで、後から知ったという方もいたので、もっと宣伝してはどうか。（教育委員）

A：梨泰院の事故があってから雑踏警備がかなり厳しくなっており、難しい部分もある。（事務局）

A:本当に事故が起こらないというのが一番なので、もちろんランナーの方には機嫌良く走っていただくことも大事だが、周りで事故が起きないように気を付けたい。(教育長)

---

**5 次回定例教育委員会予定**

令和5年12月11日(月) 午後1時30分 4階会議室4-1

**6 閉会あいさつ 教育長**